様式第1号（第8条関係）
第1面
熊谷市長　宛

年　　月　　日

熊谷市再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置費補助金交付申請書（兼請求書）

捨　印

字削除
字加入

熊谷市再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置費補助金交付要綱第8条の規定により、次のとおり申請します。
申請に当たっては、6に掲げる「設備管理及び補助金申請に当たっての注意事項」を確認しました。

1　申請者

フリガナ		印	※スタンプ印不可
氏　　名			
生年月日	年　　月　　日		
住　　所	〒　　― 熊谷市	電話番号	（　　）　　― ※昼間連絡のつく連絡先をご記入ください
設備を設置した建築物の所有者、既築・新築	□ 申請者単独所有　□ 共有名義等（同意書（様式第3号）の提出が必要です）	□ 既築　□ 新築	

2　同意事項

下記事項を確認した上で、申請者が自署を行ってください。

補助対象要件である市税納付状況確認のため、
市税情報の照会を行うことに同意します。

申請者自署 ＿＿＿＿＿＿＿＿

3　設置等を行った設備　※申請する設備すべてについて記載してください。第2面も記載欄があります。

設備の種類	設置日	補助金申請額の計算方法	補助金申請額※
□ 太陽光発電システム	年　月　日	(1) 【様式第2号の①】×20,000（上限100,000円） ➡	,000 円
□ 太陽熱利用システム【自然循環型】	年　月　日	(2) 10,000円（一律） ➡	,000 円
□ 太陽熱利用システム【強制循環型】	年　月　日	(3) 30,000円（一律） ➡	,000 円
□ 家庭用燃料電池システム（エネファーム）	年　月　日	(4) 【様式第2号の②】×5%（0.05）（上限50,000円） ➡	,000 円
□ 家庭用蓄電システム	年　月　日	(5) 【様式第2号の③】×5%（0.05）（上限50,000円） ➡	,000 円
□ 地中熱利用システム	年　月　日	(6) 【様式第2号の④】×5%（0.05）（上限100,000円） ➡	,000 円

【補助金申請額の計算方法】※該当する補助金のみ記載してください。1,000円未満は切り捨ててください。

（1）には様式第2号に記載の①（小数点以下第2位まで）に20,000円を掛けた金額を記入してください。（**上限100,000円**）
　（例）①が4．61kWの場合、【4.61（kW）×20,000（円）＝92,200円➡（1,000円未満切り捨てのため）補助金申請額は　**92,000円**　】
（2）には10,000円、（3）には30,000円を記入してください。
（4）には様式第2号に記載の②に5%（0.05）を掛けた金額を記入してください。（**上限50,000円**）
　（例）②が合計1,500,000円の場合、【1,500,000（円）×5%（0.05）＝75,000円➡（上限50,000円のため）補助金申請額は　**50,000円**　】
（5）には様式第2号に記載の③に5%（0.05）を掛けた金額を記入してください。（**上限50,000円**）
　（例）③が合計900,000円の場合、【900,000（円）×5%（0.05）＝45,000円➡（上限50,000円のため）補助金申請額は　**45,000円**　】
（6）には様式第2号に記載の④に5%（0.05）を掛けた金額を記入してください。（**上限100,000円**）
　（例）④が合計2,500,000円の場合、【2,500,000（円）×5%（0.05）＝125,000円➡（上限100,000円のため）補助金申請額は　**100,000円**】

4　補助金の交付先

補助金はクマぶら（LINEアプリ）内にある地域電子マネー「クマPAY」に、交付決定後に入金となります。
第2面にある、6　設備管理及び補助金申請に当たっての注意事項　⑹の内容を確認してください。

クマPAYに登録した電話番号											
クマPAYカード番号	7	1	3	0	8	4	1	2			

※番号誤りにご注意の上、
申請者本人のものをご記入ください。

第2面にも記載欄があります

5 補助金交付申請設備内訳

第1面の設置等を行った設備でチェックしたすべての設備について、記入してください。

□ 太陽光発電システム			
(1) メーカー名		(2) 型番	
□ 太陽熱利用システム 【自然循環型】			
(1) メーカー名		(2) 型番	
□ 太陽熱利用システム 【強制循環型】			
(1) メーカー名		(2) 型番	
□ 家庭用燃料電池システム（エネファーム）			
(1)燃料電池ユニットのメーカー名		(2) 燃料電池ユニットの品名	
(3)燃料電池ユニットの製造番号			
(4)貯湯ユニットのメーカー名		(5)貯湯ユニットの品名	
(6)貯湯ユニットの製造番号			
□ 家庭用蓄電システム			
(1) メーカー名		(2) 型番	

□ 地中熱利用システム					
(1) メーカー名		(2)機種名（型式）		(3)年間エネルギー効率	
(4)熱交換の媒体		その他の場合は具体的な媒体名	（ ）		
(5)掘削孔の本数	本	(6)熱交換器の深度	m	(7)熱交換井の帯水層の深度	m ～ m
(8)地中埋設水平ループの深度	m	(9)地中埋設水平ループの総延長	m		
(10)地中熱を利用するための設備		その他の場合は設備名	（ ）		
	メーカー名		機種名(型式)		

6 設備管理及び補助金申請に当たっての注意事項

⑴ 設備の設置および使用により生ずる光の反射や騒音等の発生の防止に配慮し、周辺環境の保全に努めてください。

⑵ 設備を設置することによって立地上又は構造上の危険が生じないことを確認した上で、申請をしてください。

⑶ 設備は善良なる管理者の注意をもって管理し、要綱で定める耐用年数経過以前に設備を処分する場合は、あらかじめ市長の承認を受けてください。

⑷ 市が設備の設置の状況を確認するため、現地調査等を行う場合があります。

⑸ 設備の設置等を行った住宅に、市の補助金の交付を受けた同一種別の設備（当該補助金の交付を受けた設備の設置日が申請日において耐用年数を経過している場合を除く。）又は交付を申請している同一種別の設備が存する場合は申請できません。また、個人が施工した設備についても補助金の申請ができません。

⑹ 補助金は、地域電子マネー「クマPAY」で交付します。
申請者は、補助金申請時点でクマぶら（LINEアプリ）内にあるクマPAYの会員登録を完了している必要があります。
クマPAYを登録済の電話番号及びクマPAYカード番号は、申請者本人のものをご記入ください。
誤ったクマPAYカード番号を記載した場合、補助金申請者ではない方に付与される場合があります。
なお、その場合であっても、申請者に再度付与することはできません。

⑺ 虚偽の申請書（添付書類を含む）を提出した場合、交付決定を取り消し、補助金を返還していただきます。

7 添付書類

□ ⑴ 設置日及び領収金額（支払）証明書（様式第2号）

□ ⑵ 設備設置及び補助金申請同意書(様式第3号)(設備を設置した住宅が共有名義等、又は申請者以外が所有する場合に必要)

□ ⑶ その他市長が必要と認める書類

□ ⑷【事業所が申請する場合のみ】電力会社と電力受給契約を締結したことを証明する書類の写し、又は全量自家消費していることを確認できる書類